

施工速報

第021号

◇◇オメガ・アクロティックの施工手順◇◇

- ※ この『施工速報』は工務担当の方々に緊急性のある事項を連絡するためのもので、『施工マニュアル』とは異なります。
 - ※ 最終的には、『施工マニュアル』の書式にあてはめたものを作成しますが、その際に内容を更新する場合があります。
 - ※ 工務担当の方々がファイリングして管理して下さい。
-

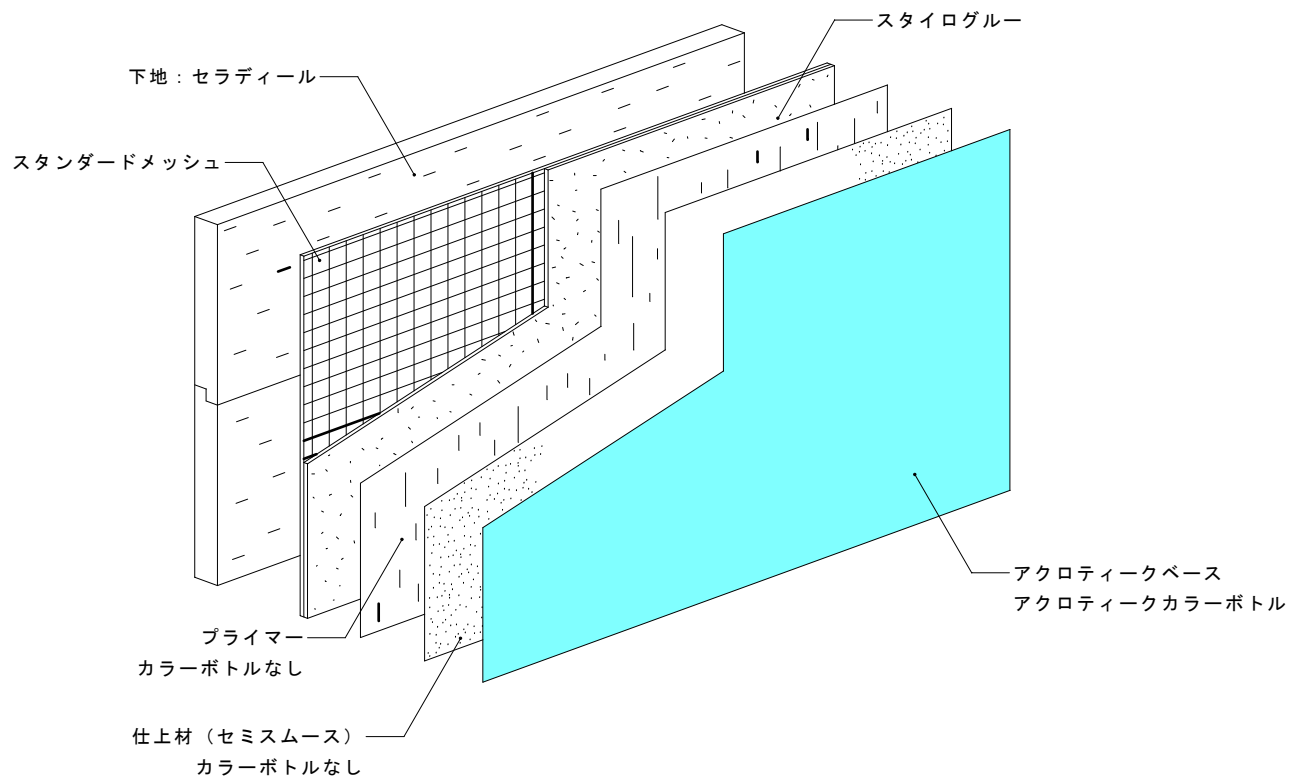
◆◆注意事項◆◆

1. 4℃以下になる環境での材料の保管は避ける。
2. 施工をする際、周囲に飛散する可能性があるため、養生ネット等で飛散防止の措置をとる。
3. 通常の養生時間24時間の間に、気温が4℃以下になる環境での施工は出来ない。
4. 気温が10℃以下になる時期の施工は、養生時間を48時間とする。
5. カラーサンプルと実際の壁の塗装とは、イメージが異なる場合があるので、確認を行いながら作業を進めること。
6. 施工中、養生中に天候が雨や雪の場合の施工はできない。
7. 天端等の雨や雪がたまる部分への施工はできない。

◆◆材料規格等◆◆（施工面積はすべて参考数量。）

◆スタイログルー	約17㎡（30kg）	
◆スタンダードメッシュ	幅=965mm 長さ=45m	
◆プライマー	約100㎡（15kg）	
◆仕上材（レギュラーベース）	セミスムース（骨材約1mm）	約13㎡（30kg）
◆アクリティークベース	約110㎡	
◆アクリティークカラーボトル	アクリティークベース1缶に1本	

◆◆施工工程◆◆



◆◆スタイログルー◆◆

1. スタイログルー（30kg）1缶に対して、セメント（25kg）1袋を混ぜて、良く攪拌する。
2. 壁面全体の塗付けの前に、セラディールの縦目地、出隅部分の5mmのすき間にスタイログルーを充填する。
3. スタイログルーは、1.5mm～2mm程度の厚さで塗付ける。（スタンダードメッシュが隠れる程度）
4. スタイログルーの塗付けは、スタンダードメッシュの中に合わせて行う。



スタイログルー



◆◆スタンダードメッシュ◆◆

1. スタンダードメッシュは建物の外壁“全面”に貼付ける。
2. スタンダードメッシュはサイディング下端から5mm程度離れたところから貼り始める。
3. スタンダードメッシュの継ぎ目は100mm以上重ねる。
4. スタンダードメッシュは縦張りで施工し、スタイログルー塗付けと同時に貼付けていく。
5. スタンダードメッシュは、たわみ、しわの無いように貼付ける。
6. スタンダードメッシュはスタイログルーに完全に隠れるように貼付ける。



スタンダードメッシュ



◆◆プライマー◆◆

1. プライマーを塗付ける際、周囲に飛散する可能性があるため、隣地に近い部分には養生ネット等で飛散防止の措置をとる。
2. プライマー（15kg）1缶に対して、カラーボトルは入れず白い状態で塗付ける。
3. プライマーの塗付けには、ローラー、はけ等を使用する。
4. スタイログルーの色が見えなくなるまで塗付ける。



プライマー



◆◆仕上材（パターン）◆◆

1. 壁全面同時に塗付け作業を行う必要があるため、各足場に2人ずつの作業員を配置する。（例：2人×4段＝8人）
2. フローティング作業：硬化したプライマー面と、こて面との間で骨材を転がす作業のこと。
3. 塗付け作業は2人1組で、1人が粗塗り、1人が仕上塗り（フローティング作業）を行う。
4. 仕上材の塗厚は骨材の大きさとする。（フローティング作業により厚みが統一される。）
5. 仕上材はセミスムースを使用する。
5. セミスムース（30kg）1缶に対して、カラーボトルは入れず白い状態で塗付ける。
6. セミスムースの粗塗り、仕上塗りには金ごてを使用する。



セミスムース



◆◆仕上材（カラー）◆◆

1. アクロティークベース 1 缶に対して、アクロティークカラーボトルを 1 本入れ良く攪拌する。
2. 混ぜたものを、霧吹き容器に入れ、セミスムース面に吹付け、すぐにスポンジ等でスジを消し、全体をぼかすように伸ばす。
3. 一度に濃く塗らず、薄いものを塗り重ねて、徐々に濃く仕上げる。



アクロティークベース



カラーボトル



アクロティーク